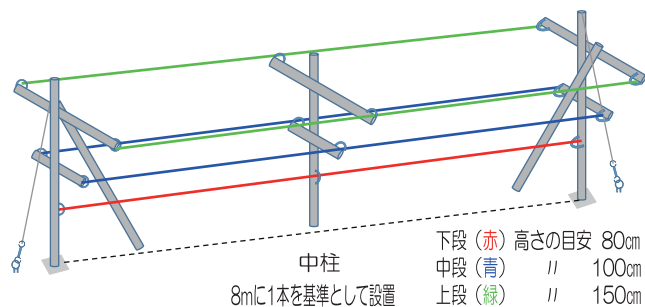
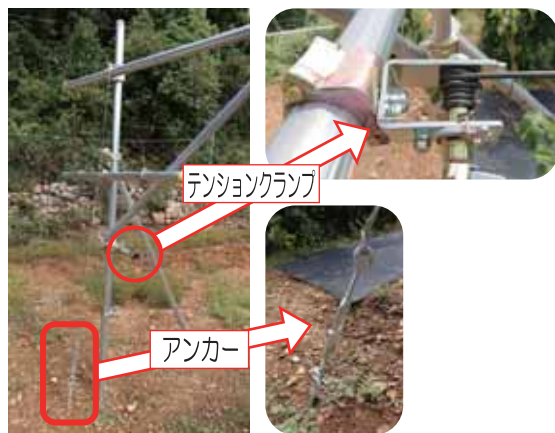


ジョイント仕立て用簡易棚例



下段(赤)の棚線に当たらないよう、
中心(破線)からずらして設置する。



20m×2列の必要経費
※中柱4本、苗木40本

資材代	130,220
苗木代	32,000
肥料代	4,300
合計	166,520

- ・単管パイプ
- ・各種クランプ
(直交、自在、ひっかけ、テンション)
- ・自在ベース
- ・アンカー
- ・ターンバックル
- ・中柱用線止めツメ付バンド
- ・被覆銅線 など

本資料の複写・転載または引用にあたっては
必ず発行者の承諾を得てください。

梅ジョイント仕立て栽培マニュアル
令和3年1月 発行
編集・発行
三重県中央農業改良普及センター

【問い合わせ先】

三重県中央農業改良普及センター 専門技術室 果樹普及課

〒515-2316 松阪市嬉野川北町530

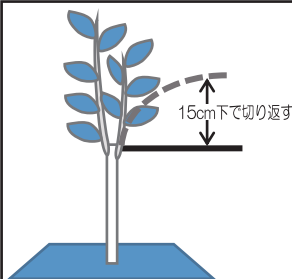
TEL 0598-42-6707 FAX 0598-42-7762

梅ジョイント仕立て 栽培マニュアル



ジョイント仕立て栽培は、神奈川県が特許を取得している技術であり、行うにあたっては実施の許諾に関する契約が必要となります。本技術の導入をお考えの方は問い合わせ先までご連絡ください。

ジョイント仕立て栽培には大苗育苗が必要です



- 新梢を90度に曲げて隣の樹とつなぐため、苗木の切り返しは曲げる高さを考えて切り返しましょう。
- 新梢の基部は曲げにくいので、曲げたい高さから15cmは余裕をみたほうが良いでしょう。
- 新梢は先端の2本のみを残し、芽掻きしてください。



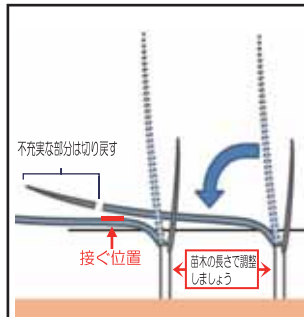
- 苗を伸ばすためには窒素と水が大変重要です。育苗は、定期的な灌水ができる場所で行ってください。
- 窒素を10gほど毎月施肥してください。
- 病害虫管理はかいよう病やアブラムシ類、鱗翅目の防除を中心に行ってください。
- 土のう袋を使えば、植え替えの作業を軽減できます。
- 敷きわらの上に堆肥を被せる等をして、土の乾燥を防ぐとより良いでしょう。



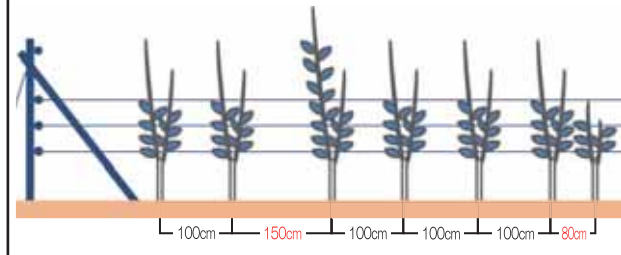
- 苗木は250cm以上伸ばすことができれば十分でしょう。
- 折れてしまった新梢は伸びにくいので、風対策にしっかりと固定できる棚等が必要です。
- 長さが十分でない場合、樹間を狭めて使います。
- 新梢にかいよう病罹病がないことを確認し、もしあれば切除してください。
- 接ぎ木の際に折れることを想定し、苗木は多めに用意しておくのが良いでしょう。



定植間隔は苗木の長さで調整してください



- 植栽間隔は、100cmを基準として苗木の長さで調整してください。
- 新梢は充実した部分まで切り戻します。切り戻す長さで接ぎたい場所を考えて間隔を決めてください。
- 長さが足りないことが恐いので、間隔は狭めたほうが良いでしょう。
- 枝の湾曲部は接ぎ木部が折れやすいので接ぐ場所としては適していません。湾曲部には接がないようにしましょう。



- 倒した枝は、しばらくすると折れることがあるので、予備の枝は2週間程度そのままにしておきましょう。その後は、接ぎ木が成功していなくても必ず切除してください。



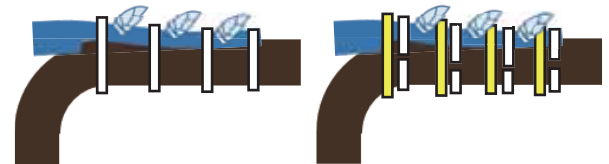
接木する部分は出来るだけ長くしてください



- 作業は葉芽が動いてから4月までに終わってください。
- 接ぐ部分は10cm程度（3芽）が必要です。鉋を使い、平滑に削ぎましょう。
- 接ぐ側（枝先端）は直径の半分程度は削いでください。柔らかいので削ぎすぎには注意しましょう。
- 水を含ませた布などを用意し、削いだ部分が乾かないようにしてください。
- 接ぎ木部の固定は結束バンドを使用します。食い込みにくい幅の広いバンドを使ってください。
- 結束バンドが芽に当たらないよう注意してください。
- 接ぎ木部の隙間はカルスメイトで塞いでください。見逃しがないようにしっかり塗布してください。



結束バンドの食い込みに注意してください



- 接いだ部分を固定した結束バンドは、樹体に食い込む前に外してください。
- 結束バンドの食い込み防止のため、10日に1度は見回りましょう。
- 食い込みがみられた場合は、隣を新しい結束バンドで固定してから、食い込んで いる結束バンドを切り離してください。
- 新しい結束バンドで固定した場合も隙間はカルスメイトで塞ぎましょう。
- 接いだ部分の固定は最低でも1年間継続してください。
- しっかり癒合した場合でも、強風ではがれてしまうことがあります。側枝をしっかりと固定し、接ぎ木部が動かないようにしましょう。